

第 2 回入札監視委員会会議録

1. 開催日時 平成 27 年 11 月 2 日 (月)
午後 1 時 30 分～午後 3 時 50 分
2. 開催場所 高浜市役所 4 階 第 5 会議室
3. 出席委員 委員長 児 玉 善 郎 (大学教授)
委員 丹 羽 重 則 (元市収入役)
委員 奥 野 暁 (土地家屋調査士)
委員 中 原 弘 道 (元県職員)
4. 事務局職員 新美総務部長、内田グループリーダー、杉浦主幹、中根主査、
稲垣主任、稲葉主事
5. 議事概要

(1) あいさつ

(2) 平成 27 年度 中期入札案件の検討について

平成 27 年度前期検討入札案件	16 件
内 指名競争入札案件	11 件
条件付一般競争入札案件	5 件

主な質疑・回答

質問・意見	回 答
<p>(2) 平成 27 年度 中期入札案件検討について</p> <p>①②下水道工事に伴う配水管移設工事 (その 3、その 4) (水道施設工事：条件付き一般競争入札) 一括審議</p> <p>○予定価格は以前から事前公表だったのか。</p> <p>○工事はいつも事前公表なので、落札率が高くなるのではないか。</p>	<p>○かなり前は事後公表でしたが、近年は事前公表で行っています。</p> <p>○事務局としては以前にも、その指摘をいただいておりますので、来年度は年度始めの入札参加者等審査委員会で、予定価格を事後公表する案件を選んで試行する考えです。</p>

<p>(事務局より建設工事における予定価格の試行について、また過去5年間の落札率と参加者の推移について概要説明)</p>	<p>入札は公正な競争機会の確保により、必要かつ、最少の金額の支出にすることを目的としますが、一方では経済的合理性のみを追求すると、地元業者が衰退し災害時における対応ができないことが懸念されます。本市においては地域経済の活性化、地元業者育成の観点から平成27年7月以降の入札について、市内業者のみの入札参加条件を予定価格2,500万円未満までの工事から、3,000万円未満までとして市内業者優先入札の金額を引き上げましたが、これは多数の者が参加できる環境の確保とは相反するものになっています。</p> <p>近年、落札率が高くなっている土木一式工事、水道施設工事、建築工事で入札参加者等審査委員会で案件を選定し、予定価格の事後公表を試行的に実施をして、その結果を見て今後を判断することを考えています。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>近年、土木一式工事、水道施設工事、建築一式工事で高落札率となっているため、委員会は予定価格事前公表にその理由の一因があるのではないかと考え、事務局は平成28年度より事後公表を試行的に実施し、その検証をする考えを提案した。</p>	
<p>③④⑤⑥⑦公共下水道整備工事</p> <p>③論地処理分区(27-5工区)</p> <p>④港第3処理分区(27-8工区)</p> <p>⑤論地処理分区(27-1工区)</p> <p>⑥論地処理分区(27-2工区)</p> <p>⑦論地処理分区(27-6工区)</p> <p>(土木一式工事：条件付き一般競争入札一括審議)</p> <p>○この5件の工事は応札可能な業者数は何者か。</p> <p>○それにもかかわらず、応札は4者のみ</p>	<p>○③から⑥までの案件は9者、⑦の案件は7者です。</p> <p>○指名競争入札ではないので、公告で周</p>

<p>で1者は、いつも予定価格と同額で応札している。事務局は、これをどう思うか。ペナルティみたいなものは考えないか。</p> <p>○その1者は県とかの大きな仕事を請け負っているとか、そういう事情があるのか。</p> <p>○もう少し工区を広げたら参加業者が増えて、結果も変わるかもしれない。工区はどう決めているのか。</p> <p>○応札可能業者のうち、建築工事が主体のところは、あまり積極的な応札ではない。また造園業が主体のところは応札してこない。少ない業者数で競っているので、競争性が発揮されない現状があるように見える。</p>	<p>知をして、それに応じて業者が応札するというもので、1者については最近では予定価格と同価格が続いている、というものでペナルティはありません。予定価格の事後公表を試行的に行って検証してみて、改善できることがあれば図っていきたいと考えています。</p> <p>○それは把握していませんが、現在は民間の開発工事に比重を置いているようです。公共下水道工事については、国からの基準で隣接している箇所、工区が重複する箇所については経費の調整を図り減額するよう示されています。そのことも高落札率となる理由としてあると思います。</p> <p>○下水道は自然流下が基本ですので、流下面積を考慮して、あとは道路の条件を加味して決めています。</p> <p>○以前は、近隣市の業者も参加できる状況でしたが、災害があった場合や雪氷対策等の地域に密着した活動は市内業者でないと担えない部分もあります。近年、市内業者が廃業したこともあり、競争性を図る面と市内業者の育成を図る面の両立は難しい所があります。</p>
<p>【審議結果】 事務局は、現状を踏まえて、予定価格の事後公表の試行などをして、問題点を検証し、新たな方向性を探る考えを示した。</p>	
<p>⑧書類保管用移動棚の購入 (物品：指名競争入札)</p> <p>○辞退した業者の理由は何か。</p>	<p>○いずれも仕様書に沿った物品を取り扱っていないということでした。</p>

<p>○参考見積は、どこから取ったのか。</p> <p>○1番札と2番札で、随分価格差があるが、きちんと仕様書どおりの物が納入されたのか。</p> <p>○価格差が大きい理由は把握しているか。</p>	<p>○落札業者と、もう1者から取りました。</p> <p>○同等品の申請があり、その品でも可とのことで、まちがいないものが納品されました。</p> <p>○業者間の差だと思います。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>委員会はこの案件は参考見積を取ったメーカーの価格が高い物だったため、予定価格に対して低落札率となったと判断した。</p>	
<p>⑨かわら美術館屋上改修工事 (建築一式工事：条件付き一般競争入札)</p> <p>○最近、建築一式工事が高落札率となっているが、これは人件費の増とか資材価格の上昇によるものとか、近隣市の状況とか把握しているか。</p> <p>○設計金額を積算するときに、どこの市も県の歩掛に基づいて計算しているのか。他の自治体が積算しても予定価格は同じようなものになるのか。</p>	<p>○職人不足による人件費増等も考えられます。社会福祉協議会の建築工事案件でなかなか業者が決まらなくて何度か入札をしたことを聞いています。近隣市の状況ですが、平成25年度の数字ですが、近隣市6市中3市が落札率95%以上となっています。</p> <p>○基本は県の単価に基づいて積算しますが、この案件のように防水工事では現場の状況によって、かなりそのあたりは変わってきます。美術館は複雑な構造の建物ですので、単価は高くなると思います。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>委員会は美術館は構造的に複雑な建物であり、工事単価は高めになるため、その結果、高落札率となったと判断した。</p>	
<p>⑩吉浜小学校屋内運動場吊り天井等改修工事</p> <p>⑪高取小学校屋内運動場吊り天井等改修工事</p>	

<p>(建築一式工事：条件付き一般競争入札) 一括審議</p> <p>○応札業者が少なかった理由は把握しているか。</p> <p>○こういう工事は、足場代が高い比率を占めるので、そこが安かったとなると入札不調になる可能性もあった案件だと思われる。</p>	<p>○市内業者の話では、大規模な工事で難しいという声がありました。</p> <p>○事務局が把握したところでは、設計書で、吊り天井を崩すのに必要な仮設の設計が実情と開きがあり、そのためほとんど応札がなかったようです。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>委員会は本案件は、設計したコンサル業者と実際に施工する業者とで足場の積算に違いがあり、そのことにより応札業者が少なく、高落札率となったと判断をした。</p>	
<p>⑫小中学校屋内運動場非構造部材耐震化 対策実施設計業務委託 (設計委託：指名競争入札)</p> <p>○先ほど⑪の案件で足場の設計が安くて応札が少なかったとのことだが、その積算をした業者も入っているのか。</p> <p>○今度は大丈夫なのか。</p> <p>○予算計上時の見積は業者に見積を取ったのか、職員が積算したのか。</p> <p>○予算のときの価格は、どちらの業者が出した見積によるのか。</p>	<p>○今回の落札業者になります。</p> <p>○前回は反省して、実施設計のときに都市政策部職員と打ち合わせをして調整していますので大丈夫だと思います。</p> <p>○2者から見積を取りました。</p> <p>○落札業者が出した金額です。昨年この案件は低落札率となったので、本当にこの価格でよいか確認しましたが、一般的な見積価格としてはこの金額です、とのことでした。</p>

<p>○落札業者は過去の実績の中で、ある程度データを持っているとか、そういう状況にあったのか。</p>	<p>○この業者は特に学校屋内運動場の非構造部材耐震化業務について、取りたいという意向がありました。</p>
<p>【審議結果】 委員会は、本案件は当該業務で強い競争性が発揮されて、結果として低落札率になったと判断をした。</p>	
<p>⑬低濃度PCB廃棄物処分および収集運搬業務委託 (委託：指名競争入札)</p> <p>○辞退業者について、理由は何か。</p> <p>○落札業者と2番札の業者で、随分価格差があるが、落札業者の処分先施設はどこか。</p> <p>○こういうPCB廃棄物処分というのは、今後も出てくるものか。</p>	<p>○高濃度PCB廃棄物処分については、愛知県内に処分場がありますが、低濃度PCB廃棄物処分については近県に処分場がなく、そこでの処理許可を持っていないという理由でした。</p> <p>○他県の施設です。そこと取引先として締結していますが、低濃度PCB廃棄物処分の実績がないため、今回は実績がほしいということで、非常に低い額での応札となりました。</p> <p>○本市では都市政策部で出るという話を聞いています。また学校でも出てくると思いますし、他の自治体でも出てくると思います。</p>
<p>【審議結果】 委員会は、本案件は今後同種の業務委託が多く発注されることが予測されるため、実績作りのために競争性が強く発揮され、低落札率となったと判断をした。</p>	
<p>○道路橋りょう修繕工事 市道葭池線 (土木一式工事：条件付き一般競争入札)</p> <p>③から⑦の案件で土木一式工事の高落札率については審議されたため、本案件についての特別な意見はなし。</p>	

【審議結果】

事務局は、現状を踏まえて、予定価格の事後公表の試行などをして、問題点を検証し、新たな方向性を探る考えを示した。

○自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価業務委託
(委託：指名競争入札)

○毎年おこなっている業務だが、予定価格は、どのようにして決めているか。昨年の契約価格を参考にしているのか。

○入札時には応札額がずいぶん低くなっているが、昨年の応札業者は実績があるので、業務負担はわかっているのではないか。

○今回の落札業者も同様理由で価格を安く応札できたということか。

○今回の落札業者と2番札の業者から見積を取り、安い価格で予定価格としました。

○昨年の落札業者は先に近隣市で同様業務の委託を受注しており、同じ日に調査をすると負担が軽減できるので、価格を安くできたとのこと。

○今回の落札業者は、同種業務の実績作りで、何としても取りたいということで応札し、落札となりました。

【審議結果】

委員会は、本案件は業者間の競争性が強く発揮されて、その結果低落札率となったと判断をした。

○小型動力ポンプ
(物品：指名競争入札)

○予算の時の見積は、どこから取ったのか。

○予定価格を下回ったのは落札業者だけだが、他社はあまり取る気がなかったということか。

○これは既製品みたいなものか。

○落札業者から3番札までの業者の3者から取り、1番安かった価格で予算を取りました。

○初めからシビアな額で、見積書をいただいたからだと思われます。

○カタログに載っているものではないです。

【審議結果】

委員会は、本案件は予算時の見積書がシビアな価格だったため、結果として高落札率となったと判断した。